

2020（令和2）年4月8日

生徒諸君・保護者の皆様へ

筑波大学附属高等学校
校長 藤生 英行

オンラインでの教育活動の開始について

日頃、本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の感染終息の見通しがたたないことから、様々な教育活動について変更を余儀なくされています。そのため、本校では4月の授業開始日からオンラインで課題配布・提出、クラス毎のホームルーム、授業等を開始できるように整備を進めています。なお、この取り組みでは Google 社の G Suite for Education の各種ツール(Google Classroom ほか) 等を用います。

現在のところ、本校の臨時休校期間は5月6日（水）までとなっていますが、その後も休校解除が出来る状態になるかは不透明です。この状況に鑑み、本校は、5月以降もブランクをつくることなく継続的に生徒の学習活動が行えるようにします。

オンラインでの教育活動の開始にあたり、注意点が4点あります。

1. オンライン授業は、本来の授業の一環であると認識してください。
授業担当教員から求められた課題は、教科・科目の評価対象とします。
2. オンライン授業を、今後、授業時数としてカウントする可能性を検討しています。
報道によれば、現在、文部科学省では全日制高等学校におけるオンライン授業について、現在の諸要件緩和の検討をはじめているようです。文部科学省の通知をもって、カウントの可否を決定します。
3. オンライン授業の形式には、同時双方向、映像授業、課題等があります。
担任から明日（4月9日）、時間割が発表されます。明後日（4月10日）以降に Google Classroom 上に生徒ごとの授業クラスが提示されます。時間割と Google Classroom 上のクラスが正しいか確認してください。各科目の Google Classroom に、その科目の授業形式についての説明が掲示されますから、よく読んで取り組んでください。
4. オンライン授業を受けるにあたり、ICT 環境に不安がある生徒に対しては、学校から機器等の貸与を行う予定です。

筑波大学附属高等学校は、生徒の教育を受ける権利を保障するために、すべての生徒がひとしく、質の高い学習・教育活動を行うことができるよう、最大限の努力をします。